

競技上の確認事項

※ 以下の確認事項の他は、現行の日本ミニバスケットボール連盟ミニバスケットボール競技規則による。

1. 試合形式について

- (1) 予選リーグを行う。
 - ① 審判、コミッショナーは帯同で行う。チーム責任者は審判、T0、C0 割り当てを確認する。
 - ② 延長戦は行わない。
 - ③ 各小学校会場に会場責任者を置く。
会場責任者の業務内容
 - ・ 試合順の確認
 - ・ 審判・T0・C0割り当ての作成と審判・コーチライセンスの確認
 - ・ コート設営、T0用（機材、スコアシート）、C0用（フラッグ、チェックシート）等の確認
 - ・ 試合球の確認
（5号合成皮革ボールの試合球を2個用意し1日通して使用するのが望ましい）
 - ・ **試合結果の報告（競技委員 田中へFAXで当日中にお願ひします（272-9373）一部メール可**
- (2) 各リーグ順位の決定は、次のように行う。
 - ① 勝ち点によって順位を決定する。（勝=3点、引き分け=1点 負・棄権=0点）
 - ② 勝ち点と同じチームが生じた場合は、関係チーム間の勝敗を優先する。
 - ③ ①②でも決定しない場合は関係チーム間のゴールアヴェレージ（総得点/総失点）の高いチームを上位とする。
 - ④ ③でも決定しない場合は、全試合のゴールアヴェレージ（総得点/総失点）の高いチームを上位とする。
- (3) 予選リーグを通過したチームによる決勝トーナメント順位決定戦を行う。
 - ① シードされているチームはトーナメントの指定の場所へいく。
 - ② **代表者会議にてトーナメント2位枠の事前抽選を行うことで2次抽選会を省略する**

2. 試合時間について

- (1) 試合時間は、現行の競技規則通りに行う。
- (2) ハーフタイムは、全試合5分間とする。（ハーフタイム最初の2分間は、次の試合のチームはコートでの練習を行ってもよい。）
- (3) **決勝トーナメントの延長戦は、競技規則どおり行う。**ただし、第1延長で攻めるゴールは、自チームベンチ側とする。
- (4) 前試合の終了時刻が遅れた場合は、試合終了後7分間おいて「3分前」とする。

3. チーム編成・ベンチについて

- (1) チームの編成は、チーム関係者（コーチ1名・Aコーチ2名・マネージャー1名）と登録選手（8名以上15名以内）の計19名以内とし、他の者はベンチに入ることにはできない。
☆普及リーグは全員1Q以上出場の特別ルール採用
- (2) ベンチは、組み合わせ表番号の若いチームがT、O席に向かって右側とする。また、**前半で攻めるゴールは相手チーム側とする。**
- (3) 各チームのベンチエリアは、チームスコア記録用機の位置から自チームベンチ側のエンドラインまでを範囲とする。
- (4) チームのベンチ前で移動しながらコーチングできるのは、JBA公認コーチのみとする。また、その他の者はベンチから立ち上がって指示、応援等を行ってはならない。
- (5) ベンチ内へは、メガホンなどの応援用具を持ち込んではいない。

4. ユニフォームについて

- (1) 各チームは、濃淡2色のユニフォーム（上下同色）を用意する。
- (2) 試合組み合わせ表番号の若いチームが淡色を着用することを原則とする。ただし、対戦チーム間で相談のうえ、濃淡を交換してもよい。（審判員へも試合前に報告する。）
- (3) Tシャツやアンダーガーマントを着用の場合は、ユニフォームと同系色とする。

5. 交代や出場選手の登録について

- (1) 各クォーターの出場選手登録は、T、O席前に並んでチェックを受けることとする。
- (2) 第1クォーターの出場選手登録は「3分前」、第2・3・4クォーターの出場選手登録は「前クォーター終了直後」に済ませることとする。

6. その他

- (1) チームベンチ内や応援の際における態度・マナーについても、チーム関係者が責任をもって管理、指導する。
- (2) 予選会、決勝トーナメント、順位決定戦等、T0をするチームは筆記用具を持参してください。
- (3) コーチライセンス証は試合前に確認し、試合中は首から下げ、その者だけが立ってコーチングできる。決勝トーナメント、順位決定戦の第一試合の前に代表者会議を行い、コーチライセンス及び審判、T0、C0の確認を行う。
- (4) 喫煙は決められた場所のみとし、車内であっても敷地内での喫煙は厳禁とする。
- (5) 決勝トーナメント順位決定戦の各日第1試合のT0は、原則としてそのコートの第3試合の白チームが担当する。